てまことに読みごたえがある。かかる基礎的出版物を出された日本常民文化研究所に敬意を表するものである。394頁定価800円. 東京神田，岡書院発売。（前川文夫）

□**Flora URSS.** Vol. **18** (1952)

Vol. 10 (1941) まで輸入された本書は，その後 Vol. 11 (1945), 12 (1946), 13 (1947), 14 (1948), 15 (1949), 16 (1950), 17 (1951) と続刊されている事を知つたが入手困難であつた。最近 Vol. 18 (1952) が入り見る事ができたが，丁度この巻から合瓣花植物が初まりイチヤクソウ科からガガイモ科まで収められていた。体裁その他今迄と同様であり，多くの著者が分担執筆しているためもあつて属や種を大きく見ている所と細分してある所が入り交つている点が目立つた。例えば *Rhododendron, Gentiana, Crawfurdia* などは広義に用いられているが，一方 *Lomotogonium, Anagallidium, Ophelia* は *Swertia* から分離してあり，又 *Cynanchum* 類は細かい属に分けられていて，保留属名に提案されている *Vincetoxicum* Moench の代りに *Antitoxicum* の新名を用いている。ハシドイも *Ligustrina*，バシクルモンは *Trachomitum* として扱われている。種は多くの場合かなり細かく，多少著しい地方的変異はすべて別種と見なされている。樺太，千島で戦後採集された標本も引用されており，南千島に産する種類も含まれ分布地域としては樺太地区として記されている点引用の際注意を要する。千島国後島からコメツツジが報告されている。しかしこの地域のものはまだ標本文献共に不充分の様である。例えばかなりはつきりした特徴をもつカラフトイチヤクソウは *Pyrola minor* に入れられており，*Monotropa uniflora* には *Monotropastrum* が交じり，樺太で *Ligustrum Tschonoskii* と *L. yezoense*, 又 *Gentiana Makinoi* と *G. axilliflora* (誤記) とがならんで載せられている。この地域からの唯一の新種 *Gentiana kurilensis* Grossheim (p. 576 & 750, t. 30, f. 1) は常品より小さい花をもつたカワチリンドウであり，反つて *G. nipponica* として t. 30, f. 3 に図解されているものがカワチリンドウの基準形である。（原　寛）

正誤表 (Errata)　(J. J. B. **29** no. 1. Jan. 1954)

頁 (page)—行 (line)	誤 (For)	正 (Read)
1—7	**異常について**	**異常型について**
1—23	F (a—a′) b	F (a—a′) b′
5—13 & 14; 9—3 & 4; 10—10	*Melilotus altissima*	*Melilotus* sp. シナガワハギの一種
5—15 & 16; 9—6; 10—12	*M. officinalis* 外国種	*M. altissima* セイタカコゴメハギ